

平成24年度事業の承認・さらに研修の充実を目指す

府市町村保健師協議会総会・研修会



平成24年度府市町村保健師協議会総会・研修会が5月10日・11日の両日に開催され、およそ100人の保健師の参加があった。

1日目は府連合会第一会議室で行われた。主催者を代表して青山潤子会長と来賓の京都府健康対策課長の中本晴夫氏の挨拶のあと議事に入り、平成23年度事業報告及び決算報告、平成24年度事業計画案及び予算、規約の一部改正、役員改選について説明し、すべて原案どおり可決・承認された。その後近隣市町村の保健師同士での交流が行われた。

午後からは同志社大学大学院心理学研究科教授小西行郎氏の「子どもの発達を理解する」と題しての講演があった。

2日目は会場を京都平安ホテルに移し、午前には京丹波町保健福祉課地域包括支援センター課長補佐の井上祐子氏が「高齢者虐待へのアプローチ」と題して、午後からは福島学院大学大学院福祉心理学部教授・学部長の星野仁彦氏が「発達障害に気づかない大人たち」についてそれぞれ講演を行った。

今回の研修はいずれも参加申し込みが多く、協議会開催の研修が市町村保健師にとって業務に役立つ貴重な機会となっていることがうかがえた。